

【シラバスⅠ】令和8年度 学習計画・学習評価計画書

教科名	理科	科目名	化学基礎(理系)	単位	2
学年	2	組	1~5組	担当	新井・作道・古屋・大木
教科書	化基703「化学基礎 academia」「化学 academia」実教出版				
目的と目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(3)物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
コンピテンシー	【知識】【説明力】【論理的思考】【課題発見】【課題解決】【協働力】【計画管理】【探究心】【挑戦力】				
授業と学習について	予習として教科書を読み、副教材(セミナー)のプロセスやドリル、基本例題に取り組むとよい。 復習として授業プリントや板書と教科書を読み、副教材基本例題、基本問題、発展例題に取り組み、習熟度に応じて発展問題に挑戦するとよい。 日々の授業での疑問点の解決は先送りせず、その週内に解決することを習慣づけるとよい。				

	単元・学習内容	知識 技能	思考 判断 表現	主体 学習 態度	補足事項
4月	3章 1節 物質質量と化学反応式 (4)化学反応式 参考 基本法則に関連した化学史 3章 2節 酸と塩基 (1)酸と塩基 実験・観察	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
5月	3章 2節 酸と塩基 (2)水素イオン濃度とpH (3)中和反応と塩の生成 (4)中和滴定 定期考査	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
6月	3章 3節 酸化還元反応 (1) 酸化と還元 (2) 酸化剤と還元剤 (3)酸化還元反応の起こりやすさ 実験・観察	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
7月	3章 3節 酸化還元反応 (4) 身の回りの酸化還元反応 終章 化学が拓く世界 定期考査	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	
8月	1年~7月のまとめ			○	
9月	1章 1節 状態変化 2節 固体の構造 3節 気体の性質 1 熱運動と気体分子 実験・観察	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	

	単元・学習内容	知識 技能	思考 判断 表現	主体 学習 態度	補足事項
10月	1章 3節 気体の性質 2 気体の状態方程式 定期考査	○ ○	○ ○	○ ○	
11月	1章 4節 溶液 1 溶解 2 溶解度と溶解平衡 3 希薄溶液の性質	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	
12月	1章 4節 溶液 4 コロイド溶液の性質 定期考査	○ ○	○ ○	○ ○	
1月	2章 1節 化学反応と熱・光エネルギー 実験・観察	○ ○	○ ○	○ ○	
2月	4章 1節 有機化合物とその構造 2節 脂肪族炭化水素 実験・観察	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	
3月	2年生のまとめ 定期考査	○	○	○ ○	